

目的・目標

本プロジェクトでは現代人／世界の観客層に通じる形として、他ジャンルとのコラボによる新作創作に文楽出演者やプロデューサー等のクリエイターが一体となって取り組むこと等を通じ、新たなファン層開拓、国内外公演や海外プロモーションを通じた文楽・アーティストへの評価向上、古典名作への関心向上や新たな担い手の発掘・育成にもつなげ、文楽の国際的かつ恒常的な活躍の場を獲得する。

概要

チャップリンの『街の灯』やマンガ作品など他ジャンルとのコラボによる文楽の新作を制作する。また、海外での上演機会が限られてしまう文楽公演を行い、文楽の知名度を高める。海外での文楽公演の成果、そして日本で初演する海外作品やマンガ原作の新作への関心、この両輪で、国際的に活躍する人材を育成するとともに、文楽観劇しようとするモチベーションを盛り上げる。

3年目までの取組

ふたつの「新作」プロジェクトでは、それぞれ台本を新たに作成し、それに義太夫節の作曲をする。素浄瑠璃の試演による曲の磨き上げをしつつ、台本・曲に合わせた舞台装置の設計、演出プラン等の練り上げを行う。その間に、国内外での文楽普及公演を実施する。『街の灯』は国内初演を経て、その後、海外での上演を目指す。

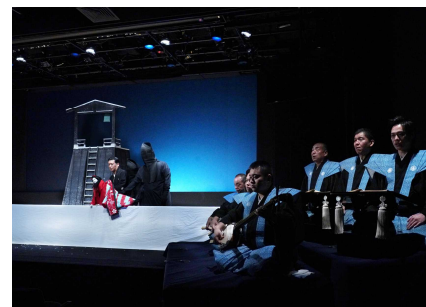
5年目までの取組



令和6年アメリカ公演（撮影：小川知子）



マンガを題材にした作品は5年間のプロジェクトとして実施する。まず2027年までに、舞台美術、演出等を練り上げ、翌年に国内で上演を行う。その後、海外での上演を目指す。



令和6年アメリカ公演（撮影：小川知子）

(分野・ジャンル)

・人形浄瑠璃文楽

(渡航先の国・地域)

・ヨーロッパ(検討中)

(国内外の連携・協力体制)

・国立文楽劇場・国立劇場、海外劇場等

成果目標（見込）

目標値

企画段階から海外公演等に登用される若手クリエイター等の数

9人

国内外の団体・企業等との連携数
(連携団体数、事業提携数、拠点形成数など)

5件

プロジェクトに関わった海外アーティスト・キュレーター等の数

5人

国内外で展開される公演・展示等の数

23回

国内外で展開される公演・展示等の入場者数

4,800人

中核となるクリエイターやアドバイザー

- ・人形浄瑠璃文楽座指導者クラス
(太夫・三味線・人形遣いからそれぞれ)
ほか

育成対象者：9人

- ・人形浄瑠璃文楽座所属技芸員（太夫・三味線・人形）から出演者等を選抜
- ・文楽協会スタッフ

【補足資料】

